

**平成20年度第2回  
敦賀市民間最終処分場環境保全対策協議会**

**浄化促進工事について**

**—説明資料—**

平成21年3月14日

福井県・敦賀市

# 1. 浄化促進技術検討部会の開催状況について

## ■ 浄化促進技術検討部会の設置(第1回協議会承認事項)

- 浄化促進工事に関する技術的検討  
設計、施工、評価を適切に進める具体的方法について協議

| 開催年月日                                  | 議事等  |
|--|--|
| 第1回<br>日時：平成20年9月27日                   | 処分場視察<br>部会長の選出<br>議題 ・ 浄化促進工事の概要および当該地条件について<br>・ 浄化促進工事の技術的検討事項について<br>・ 浄化促進工事の発注方法について |
| 第2回（持ち回り協議）<br>日時：平成20年12月<br>～平成21年2月 | 議題 ・ 前回部会の指摘事項について<br>・ 浄化目標値の設定について   |
| 第3回<br>日時：平成21年2月11日                   | 議題 ・ 浄化促進工事の施工目標値等の設定について  |

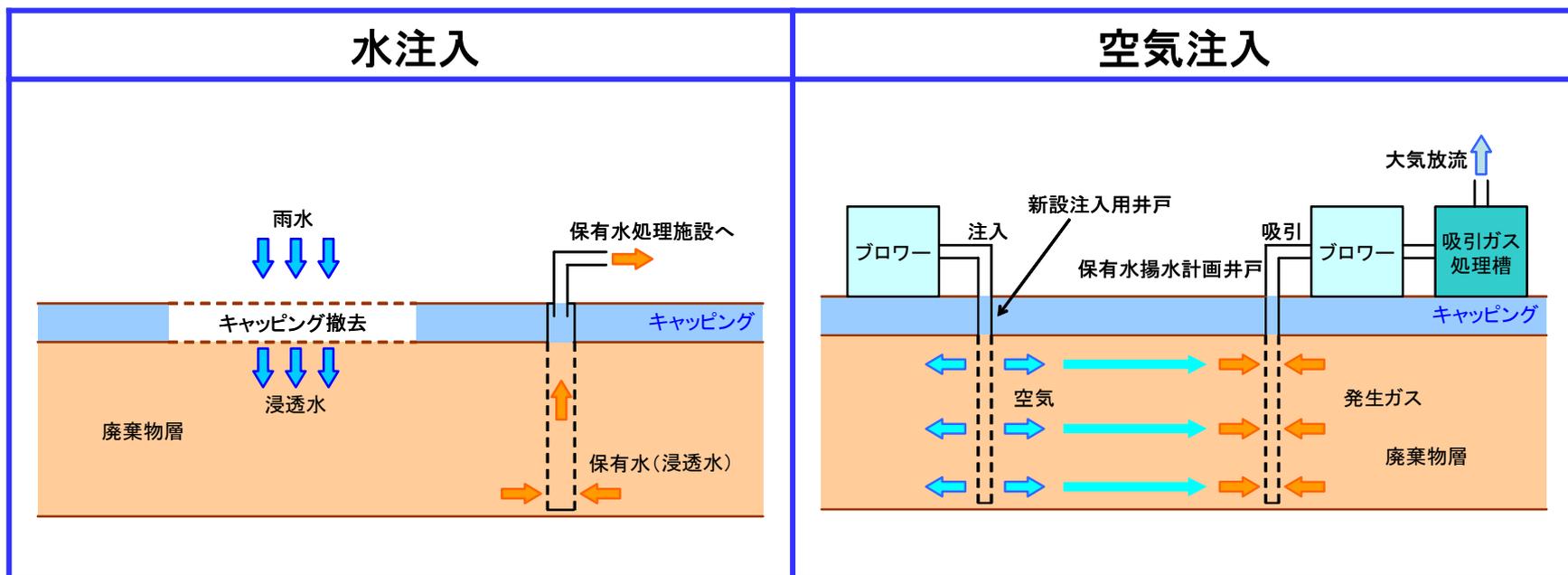
## 2. 浄化促進工事の確認事項

### ■ 浄化促進工事とは

- 水と空気の注入により、廃棄物の浄化を早め、促進させるための補助的工事

### ■ 施工期間および方法

- 24年度末までの期限を厳守し、他抜本対策工事との調整を図った上で、適切な方法を用いる。



### 3. 浄化促進技術検討部会での検討事項について

#### ① 現地条件のまとめ

- 工事設計に必要なとなる基礎データの整理について検討

#### ② 工事方法

- 浄化工法として空気注入、水注入の手法を用いることを検討

#### ③ 発注方法

- 浄化促進工事の特殊性を考慮した発注方式として、技術提案型の総合評価落札方式について検討

#### ④ 浄化促進工事の施工水準

- 浄化対策の完了を判断する基準について検討

#### ⑤ 浄化効果の確認方法

- 効果確認に必要なモニタリング方法について検討

## 4. 浄化促進工事の施工水準について

### ■ 対象物質について

- 保有水に大きな影響を与えている物質はBOD、T-Nであり、依然、排水基準を超過している。  
⇒ **BOD、T-Nを浄化の対象物質とする**

### ■ 施工の目標値について

- 安定化の水温の目安と、水処理工程の負担軽減の観点で設定

## 5. 浄化促進工事のまとめ

- ① 浄化促進工事の施工期間はH24年度までとする。  
H24年度末の状況を見て、浄化対策の効果について確認する。
- ② BOD、T-Nの目標値を施工水準として求める。同水準以下となった場合においても、工事期間内は浄化対策(空気、水注入)を継続する。
- ③ 水温、COD、TOC、 $O_2/CO_2$ 、 $NH_4-N$ 、 $NO_2-N$ 、 $NO_3-N$ 等の推移については、対策効果を判断するための参考項目として観測する。
- ④ 発生ガスについては、対策効果を判断するための参考項目とする。  
工事期間中の安全対策、周辺環境への影響について配慮する。

## 6. 浄化効果確認方法について

### ■ 浄化効果確認を目的としたモニタリングが必要

- 浄化が促進(好気化、分解進行)されていることを確認

例: アンモニア性窒素、硝酸性窒素の割合で好気化を判断(全窒素では不可)



### ■ モニタリング項目

- 浸出液: 水温, pH, BOD, COD, TOC, T-N, NH<sub>3</sub>-N, NO<sub>3</sub>-N, NO<sub>2</sub>-N, EC
- 発生ガス: CH<sub>4</sub>, CO<sub>2</sub>, O<sub>2</sub>, H<sub>2</sub>S
- 内部温度: 深度方向1m毎の温度

### ■ 調査地点

- 処理原水(水質)
- 既存モニタリングポイント(Hb-2~10)
- 新設保有水揚水井戸(BOD、T-Nに限定)

### ■ 調査頻度

- 処理原水については1回/月、それ以外の調査地点については4回/年

## 7. 浄化促進工事の発注について

### ■ 浄化促進工事の発注手続きについて

- 平成21年度内の工事着手
- 浄化促進技術検討部会の検討事項に基づき、手続きを進める

### ■ 浄化促進工事の進め方について

